

自分を大切にすく包括的性教育のすすめ

■お問い合わせ
保健福祉課 保健係
総合福祉センター「ハピネス」
☎・☆4-3356

性教育のイメージは？

性教育というとどのようなことを思い浮かべますか？学校の宿泊研修の前に養護教諭の先生から、生理（月経）の話や授業を思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか。日本の性教育は、学校では文部科学省の学習指導要領に基づき行われていますが、地域や先生によっても内容に違いがあります。十分な知識を得る機会が提供されず、メディアや友人からの情報などの中から正確な知識を得ることは容易ではないのが現状です。性について、親から教えてもらったという人はどれくらいいるのでしょうか。子どもや孫に、どのように教えたらいいかと思います。

性とはなにか

性について、『身体、感情的な愛情と愛、セックス、ジェンダー、ジェンダーアイデンティティ、性的指向、性的親密さ、快楽と生殖についての理解と、これらの関係性を含む、人間的であることの中核として理解される可能性があるもの。複雑で、生涯にわたって進化する生物学的、社会的、心理的、精神的、宗教的、政治的、歴史的、倫理的、文化的な側面が含まれる。（ユネスコ「国連教育科学文化機関2020」）と表現されており、あらゆることが関係しています。「性＝生きること」であり、ひとり一人違いがあります。



包括的性教育って？

包括的性教育とは、性を生殖・性交のことだけに留まらず、「人権」という視点でとらえ、性の多様性やジェンダー平等・人間関係などを含めた広いテーマを体系的に学ぶことです。具体的にはユネスコが作成した「国際セクシヤリテイ教育ガイダンス」が性教育の最新国際標準のマニュアルに8つの主要概念（表1）と年齢別に学習目標が書かれています。ガイダンスで提案されている包括的性教育は、科学的に正確であること、年齢・成長に即していること、ジェンダー平等を基盤にしていること、文化的関係と状況に適応させること、健康的な選択のためのライフスキルを発達させることなどを踏まえて提供されるものです。

表1：8つの主要概念

1. 人間関係
2. 価値観、人権、文化、セクシュアリティ
3. ジェンダーの理解
4. 暴力、同意、安全
5. 健康と幸福（ウエルビーイング）
6. 人間の身体と発達
7. セクシュアリティと性的な行動
8. 性と生殖に関する健康

包括的性教育は、子どもたちや若者たちに表2のような知識やスキル、態度、価値観が身につけられることを目的としています。これらは子どもや若者だけでなく、大人たちもまず学び直し、自分のこととして学びを深めていくことができると良いことでもあると考えられます。

そもそも人権とは…

世界人権宣言第1条には、「すべての人間は生まれながらにして自由であり、かつ尊厳と権利について平等である。人間は理性と良心とを授けられており、互いに同胞の精神をもって行動しなければならぬ。」と述べています。私たちは、幸せになるために、自分の生き方を自分で好きなように選ぶことができるとしています。それを誰かに邪魔されたり、踏みつけられるようなことがあってはならないし、誰かの邪魔をしたり、踏みつけることは決して許されることではありません。すべての人はひとり一人が、人であるということだけで「かけがえのない」、「尊い」、「大切な」ものであるということが性を考え、学んでいく前提となります。

持続可能な開発目標（SDGs）では

SDGsの目標3「健康と福祉を」と目標5「ジェンダーの平等を実現しよう」に、包括的性教育の取り組みが含まれます。

親子で楽しく学ぶ包括的性教育

これまで保育士・養護教諭・保健師で子どもたちの健康づくりについて情報交換する中で、自分のからだを大切にすることができないことにより、困窮を抱えたり、健康を害してしまったりする実態を知りました。ライフステージの様々な場面で、自分にとってよい選択ができるように育っていきけるために性教育は大切であるけれども、日本では十分に学ぶ機会がありません。大人の学習が不足している中で、子どもだけが学校で学ばばよいということでもありません。

母子保健の取り組みの中で、大人も子どもと一緒に学ぶことができるものとして、絵本をプレゼントする取組を今年度からはじめています。絵本を通して、おうちで自然と学びを積み重ねられるよう2歳児相談・3歳児健診・就学時健診の機会に包括的性教育についてお伝えしています。

性についての様々なことは、大人になれば自然にわかるものではありません。包括的性教育の効果は科学的にも

認められており、例えば望まない妊娠の減少や自己肯定感の改善、安全な性交渉の増加などにつながることがわかっています。自分のからだのことを科学的に正しい情報から学べるように、日本でも包括的性教育が進められるよう、身近なところからできることをしていきたいと思っています。性について、年齢などに関係なく、楽しく絵本を通して学びませんか。



2歳児相談

3歳児健診

就学時健診

表2：包括的性教育の目的

- * 子どもたちの健康とウエルビーイングや、子どもたちの尊厳を実現すること
- * 個々が尊重された社会的、性的な関係を育てていくこと
- * 子どもたち自身のいろいろな選択が自分や他者のウエルビーイングにどう影響するのかを考えること
- * 子どもたちが生まれてから死ぬまでの生涯を通じて、自分たちの権利を守るということを理解し励ますこと

